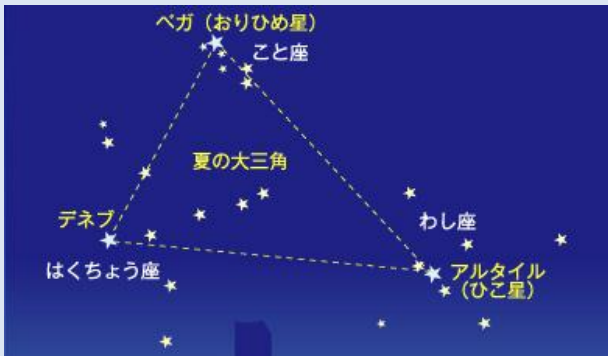
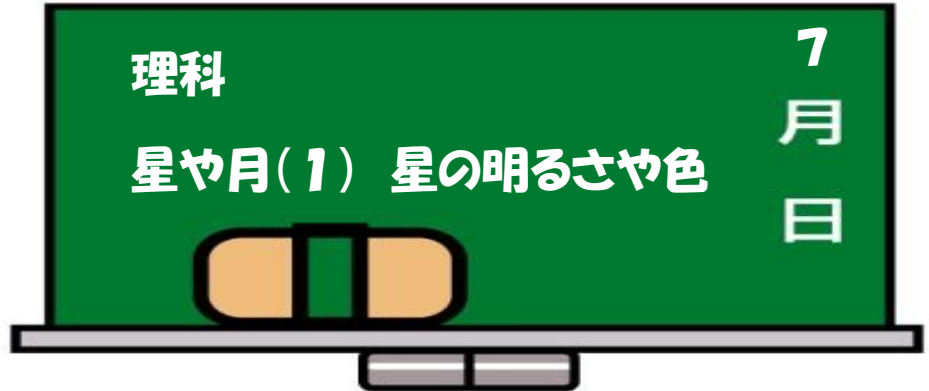
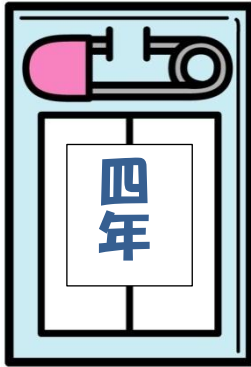


教科書の中から…

いただきます

7月



7月7日は「七夕」の日です。

七夕に出てくる「おりひめ星」と「ひこ星」は、このころの東の空にかがやいている星の名前です。



たなばた



かんれんこんだて 関連連献立 チーズパン 牛乳 スターコロッケ もやしサラダ 七夕スープ お星様ゼリー

はたらきものの「おりひめ」と「ひこ星」は、結婚してから遊んでばかりいました。そこで天の神様は、怒って2人を天の川の両側にわかれさせてしまいました。そのために悲しんでいる2人を見て、かわいそうに思った天の神様は、年に一度、7月7日に会うことを許しました。そこで2人が無事に会えるように晴天を祈ったのが七夕の始まりといわれています。

給食では、七夕にちなんで、星のかたちをした食べものをたくさん使った献立にしました。いくつかの星がみなさんに届きましたか？

教科書には載っていない…

身近な食品の話

7月



平成 25年7月 日()

献立

チーズパン 牛乳 スターコロッケ もやしサラダ セタスープ お星様ゼリー

七夕

七夕の今昔



昔の七夕は神様に豊作や健康を願う儀式のように行われていました。今は地域によって伝統的な七夕も残っていますが、多くは竹に飾りと願いを書いた短冊を吊すだけの簡単なやり方になっています。

星空を眺めてみよう!



夏の夜空に輝く「夏の大三角形」。天の川をはさんで、こと座のベガが「織姫」、わし座のアルタイルが「彦星」になります。

七夕の行事食



夏の定番の食べ物「そうめん」は、七夕に食べる行事食の一つです。平安時代に七夕の節句で小麦粉と米の粉を練って縄の形にした「むぎなわ」という菓子を食べる風習があり、日本の麺類の起源といわれています。

七夕と「文月」

七月を和名で言うと「文月」と言います。これは短冊に願い事「文（ふみ）」を書くからだと言われています。

「五色の短冊」

七夕の飾りに短冊がありますが、昔の短冊は神社のお札のように細長く、色も「青・赤・黄・白・黒」の五つとされていました。七夕の季節になると耳にする「五色の短冊」とは、この五つの色に分けられた短冊を指しています。それぞれの色には理由があり、「青」は植物の緑、「赤」は炎、「黄」は大地、「白」は土に埋まっている金属の材料となる鉱物、「黒」は水を表しています。これは中国の陰陽道から生まれた自然を表す「五行説」からきています。